

バランス物語

(30 (安定型) / 50 (安定・成長型) / 70 (成長型))

追加型投信 / 内外 / 資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

各ファンドは、主にマザーファンドを通じて国内株式・国内債券・外国株式・外国債券の4つのアセット（資産）に投資し、基本アロケーションのもと、個別資産毎にアクティブ運用を行い、合成インデックスをベンチマークとして超過収益を積み上げることを図ります。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年8月26日～2026年2月25日

| 第50期 | | 決算日：2026年2月25日 |
|-------------------|------|----------------|
| 第50期末（2026年2月25日） | | |
| バランス物語30（安定型） | | |
| 基準価額 | | 14,226円 |
| 純資産総額 | | 1,323百万円 |
| 第50期 | 騰落率 | 5.0% |
| | 分配金計 | 10円 |
| バランス物語50（安定・成長型） | | |
| 基準価額 | | 19,516円 |
| 純資産総額 | | 1,154百万円 |
| 第50期 | 騰落率 | 9.6% |
| | 分配金計 | 20円 |
| バランス物語70（成長型） | | |
| 基準価額 | | 25,590円 |
| 純資産総額 | | 701百万円 |
| 第50期 | 騰落率 | 13.9% |
| | 分配金計 | 30円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

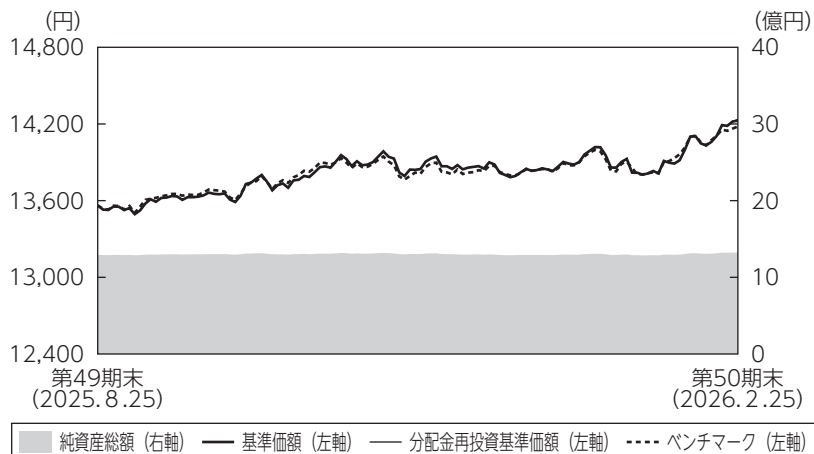
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

バランス物語30（安定型）

基準価額等の推移



第50期首： 13,562円
 第50期末： 14,226円
 (既払分配金10円)
 騰落率： 5.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化していません。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。日銀の金融政策正常化の動きや財政拡張に対する懸念などから国内の長期金利が上昇（価格は下落）したこと等がマイナスに寄与しました。一方、米国の底堅い景況感や利下げ期待、堅調な企業業績、国内新政権による政策期待や財政拡張期待等から国内外の株式市場が上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったことがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|----------------------------------|-------|
| DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド | 26.8% |
| DL ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド | △1.1% |
| DL インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド | 13.0% |
| DL インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド | 10.0% |

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第50期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------------|---------|--|
| | (2025年8月26日 ～2026年2月25日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 115円 | 0.832% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,823円です。 |
| (投信会社) | (57) | (0.416) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (50) | (0.360) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (8) | (0.055) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 1 | 0.010 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | (1) | (0.010) | |
| (c) 有価証券取引税 | 0 | 0.002 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (0) | (0.002) | |
| (d) その他費用 | 1 | 0.004 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (0) | (0.002) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 117 | 0.847 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

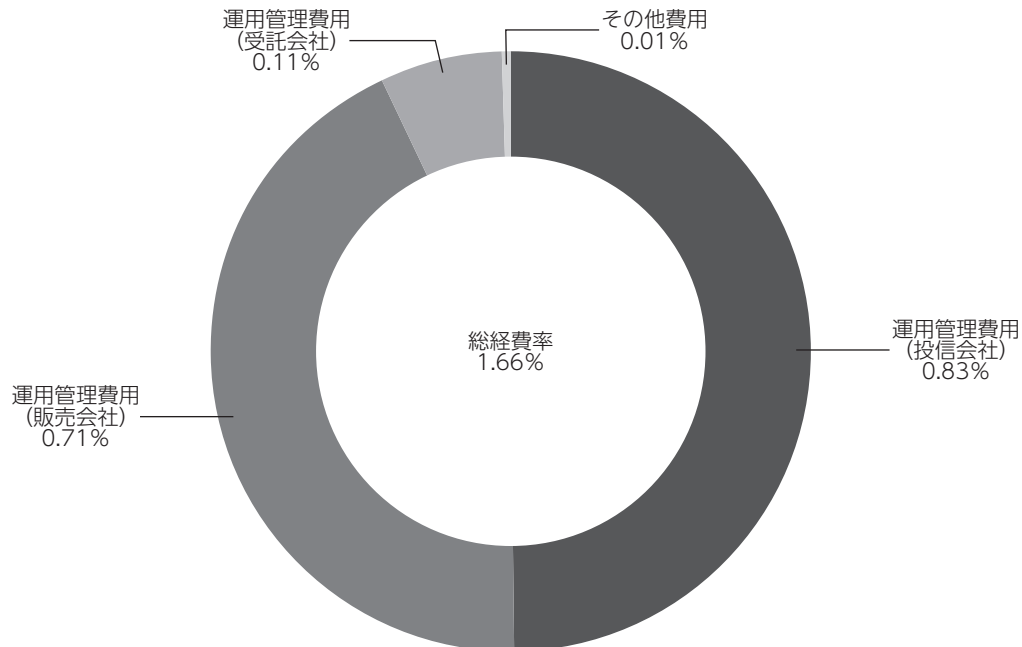
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



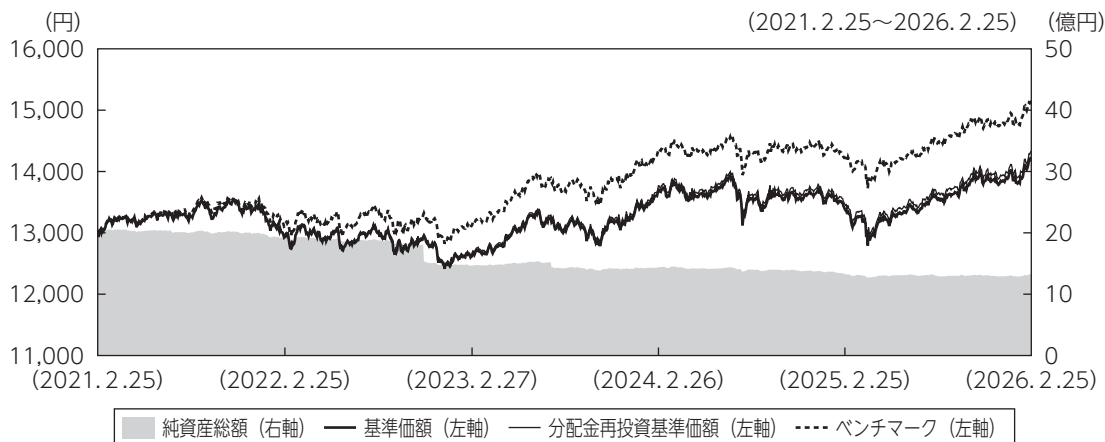
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

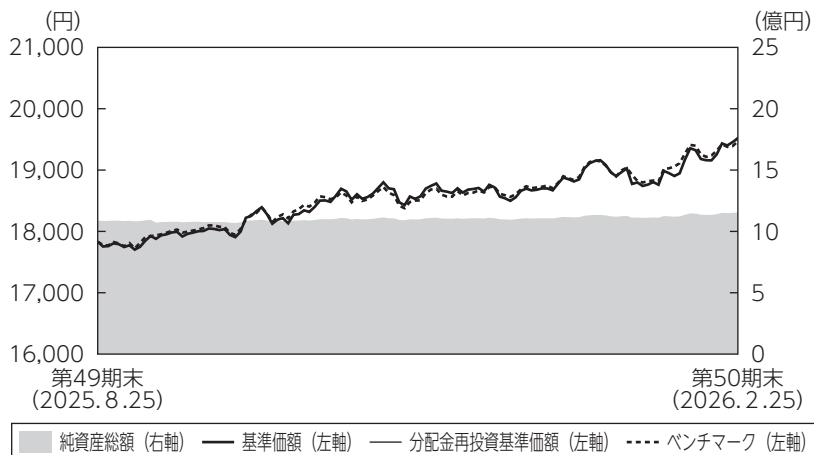


- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2021年2月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2021年2月25日 期首 | 2022年2月25日 決算日 | 2023年2月27日 決算日 | 2024年2月26日 決算日 | 2025年2月25日 決算日 | 2026年2月25日 決算日 |
|----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) 13,049 | 12,934 | 12,619 | 13,705 | 13,384 | 14,226 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) - | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) - | △0.7 | △2.3 | 8.8 | △2.2 | 6.4 |
| ベンチマークの騰落率 | (%) - | 0.4 | 0.1 | 9.5 | △1.0 | 6.5 |
| 純資産総額 | (百万円) 2,027 | 1,906 | 1,466 | 1,441 | 1,331 | 1,323 |

バランス物語50（安定・成長型）

基準価額等の推移



第50期首： 17,832円
 第50期末： 19,516円
 (既払分配金20円)
 騰落率： 9.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の「当ファンドのベンチマークについて」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。日銀の金融政策正常化の動きや財政拡張に対する懸念などから国内の長期金利が上昇（価格は下落）したこと等がマイナスに寄与しました。一方、米国の底堅い景況感や利下げ期待、堅調な企業業績、国内新政権による政策期待や財政拡張期待等から国内外の株式市場が上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったことがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|---------------------------------|-------|
| DLジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド | 26.8% |
| DLジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド | △1.1% |
| DLインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド | 13.0% |
| DLインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド | 10.0% |

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第50期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------------|---------|--|
| | (2025年8月26日 ～2026年2月25日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 154円 | 0.832% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は18,545円です。 |
| (投信会社) | (77) | (0.416) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (67) | (0.360) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (10) | (0.055) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 4 | 0.019 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (4) | (0.019) | 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (c) 有価証券取引税 | 1 | 0.004 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (1) | (0.004) | 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) その他費用 | 1 | 0.005 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (1) | (0.003) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 159 | 0.860 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

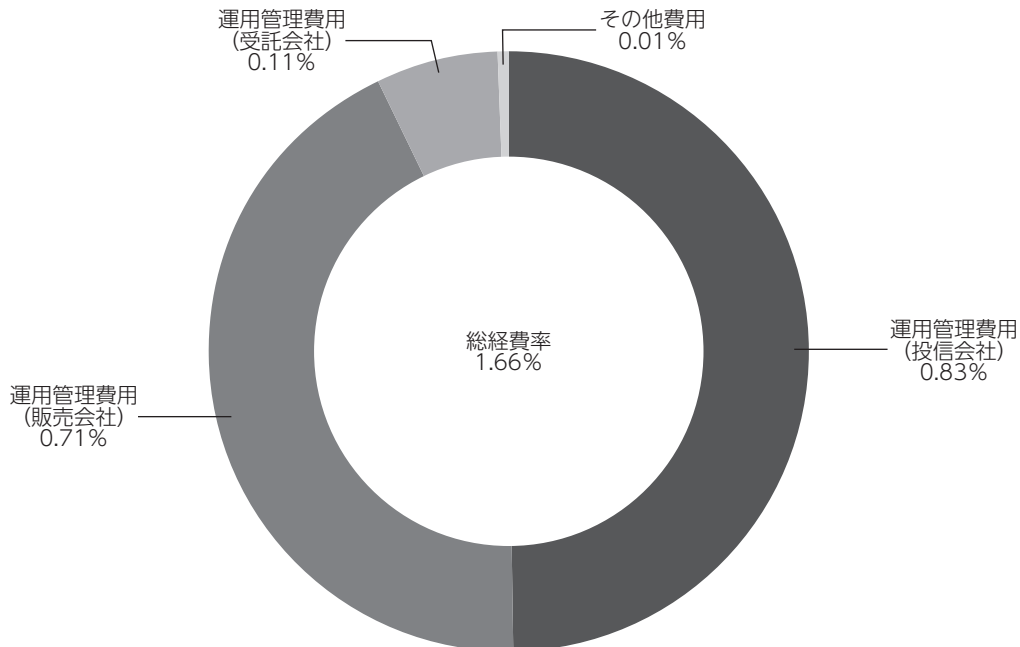
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



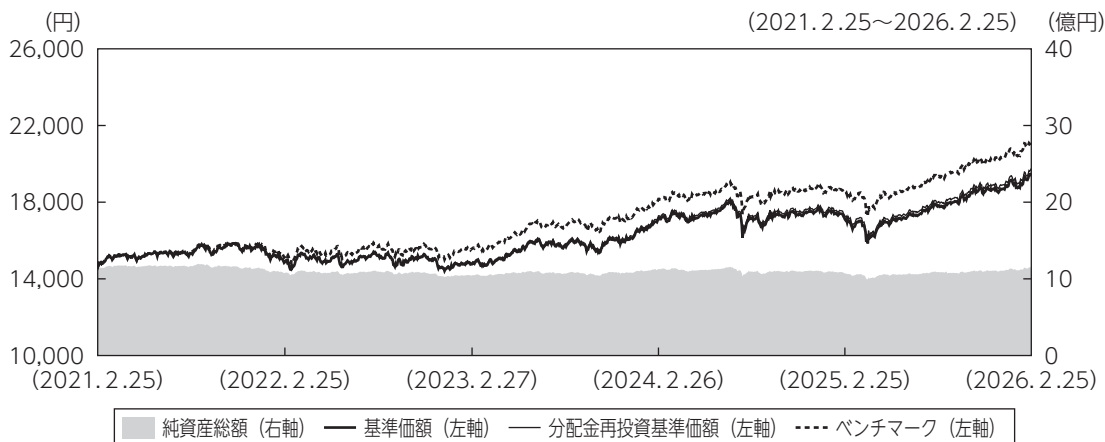
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

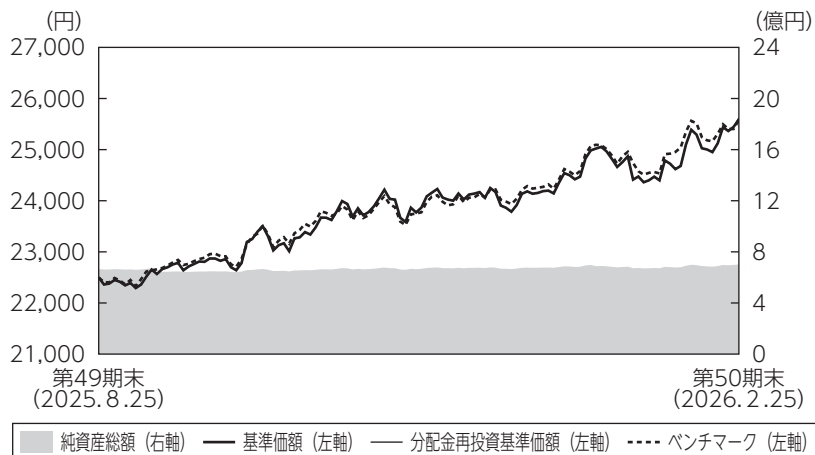
(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2021年2月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2021年2月25日 期首 | 2022年2月25日 決算日 | 2023年2月27日 決算日 | 2024年2月26日 決算日 | 2025年2月25日 決算日 | 2026年2月25日 決算日 |
|----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) 14,895 | 14,875 | 14,765 | 17,157 | 17,106 | 19,516 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) - | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) - | 0.1 | △0.5 | 16.5 | △0.1 | 14.3 |
| ベンチマークの騰落率 | (%) - | 1.7 | 2.8 | 16.7 | 1.5 | 14.6 |
| 純資産総額 | (百万円) 1,147 | 1,076 | 1,043 | 1,128 | 1,070 | 1,154 |

バランス物語70 (成長型)

基準価額等の推移



第50期首 : 22,498円
 第50期末 : 25,590円
 (既払分配金30円)
 騰落率 : 13.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の「当ファンドのベンチマークについて」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。日銀の金融政策正常化の動きや財政拡張に対する懸念などから国内の長期金利が上昇（価格は下落）したこと等がマイナスに寄与しました。一方、米国の底堅い景況感や利下げ期待、堅調な企業業績、国内新政権による政策期待や財政拡張期待等から国内外の株式市場が上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったことがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|----------------------------------|-------|
| DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド | 26.8% |
| DL ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド | △1.1% |
| DL インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド | 13.0% |
| DL インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド | 10.0% |

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第50期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------------|---------|--|
| | (2025年8月26日 ～2026年2月25日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 198円 | 0.832% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は23,842円です。 |
| (投信会社) | (99) | (0.416) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (86) | (0.360) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (13) | (0.055) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 7 | 0.028 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (7) | (0.028) | 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (c) 有価証券取引税 | 1 | 0.006 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (1) | (0.006) | 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) その他費用 | 2 | 0.007 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (1) | (0.005) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 208 | 0.873 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

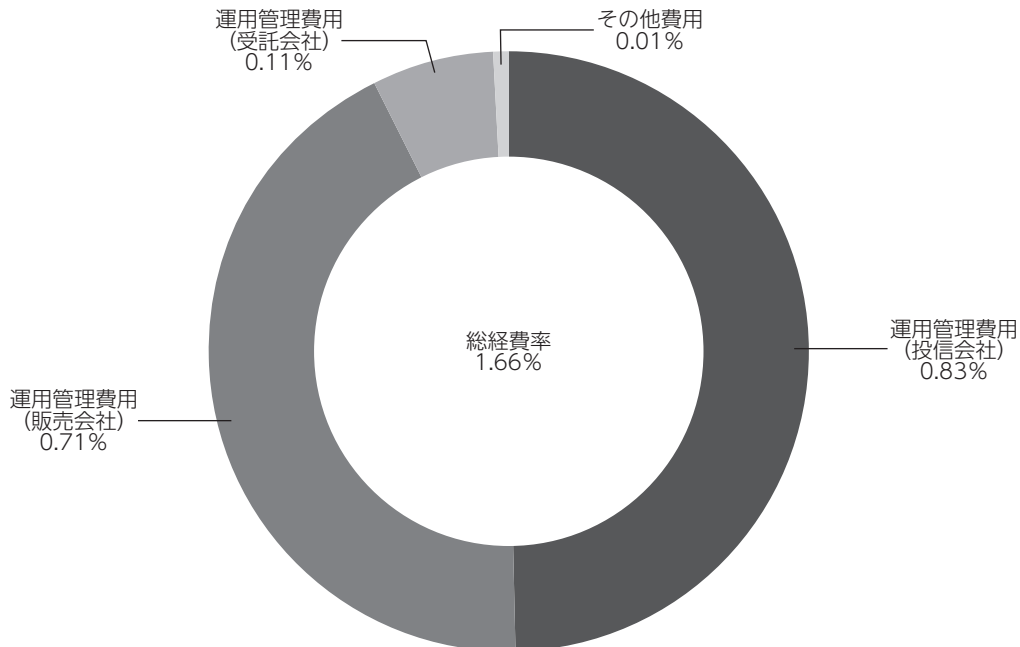
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



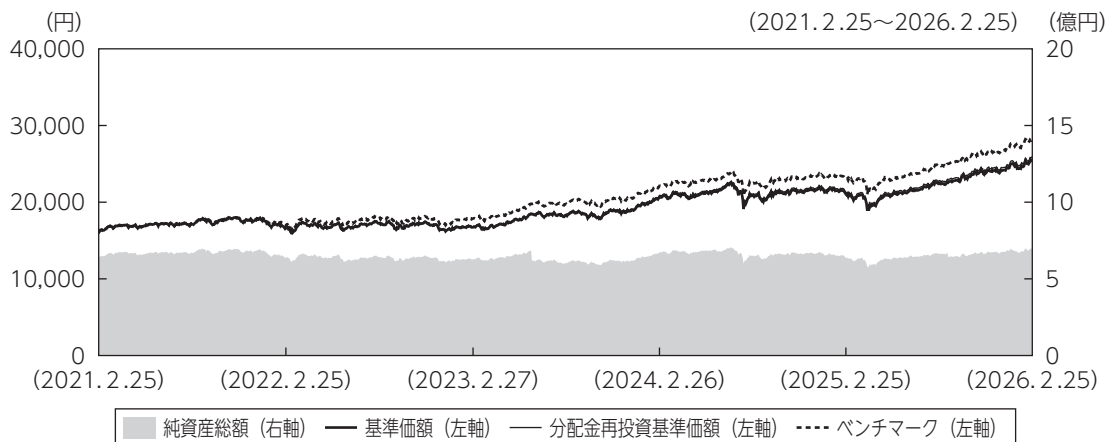
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2021年2月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | | 2021年2月25日 期首 | 2022年2月25日 決算日 | 2023年2月27日 決算日 | 2024年2月26日 決算日 | 2025年2月25日 決算日 | 2026年2月25日 決算日 |
|----------------|-------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) | 16,475 | 16,587 | 16,722 | 20,677 | 21,025 | 25,590 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) | — | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) | — | 1.0 | 1.2 | 24.0 | 2.0 | 22.0 |
| ベンチマークの騰落率 | (%) | — | 2.9 | 5.4 | 23.9 | 4.1 | 22.6 |
| 純資産総額 | (百万円) | 652 | 638 | 626 | 673 | 637 | 701 |

投資環境

国内株式市場は上昇しました。期初は日米の貿易合意に関する米国大統領令発令や国内新政権による政策期待などを背景に上昇スタートとなりました。その後は日中関係の急速な冷え込みへの警戒などが重石となる場面もありましたが、2026年1月以降は拡張的な国内財政政策期待の一段の高まりから上げ足を速め期末を迎えました。

国内債券市場では、長期金利（10年国債利回り）は、2025年10月の高市政権発足と、大規模な補正予算編成の思惑、12月の日銀による政策金利引き上げを背景に上昇基調で推移しました。2026年1月下旬には高市首相が衆院解散を宣言し、与党を含め多くの政党が消費減税を公約に掲げる中、財政悪化懸念から長期金利は一時2.380%まで上昇する場面もありましたが、2月は選挙での自民党の大勝による政権安定期待等を背景に長期金利は低下に転じ、期末は2.140%となりました。

外国株式市場は上昇しました。期初は、米中間の貿易摩擦への懸念などから調整する局面はあったものの、AI（人工知能）関連銘柄への業績拡大期待などを背景に、2025年12月末にかけて株価は上昇基調で推移しました。その後は米利下げ期待などが株価を下支えした一方、AI過剰投資懸念に加え、米国によるベネズエラ攻撃、中東情勢の緊迫化などの地政学リスクへの懸念などが重石となり、期末にかけては小幅な上昇に留まりました。

外国債券市場では、主要国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。米国や英国ではインフレ圧力への警戒感の後退や、労働市場の減速懸念などを背景に利下げを実施したことから利回りは低下しました。ドイツはECB（欧州中央銀行）が政策金利を据え置いたことや、財政支出拡大が意識されたことから利回りが上昇（価格は下落）した局面もあり、前期末比での利回り低下幅は限定的でした。

為替市場では主要通貨に対して円安の動きとなりました。米ドル/円相場は、内外金利差が縮小したものの、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を継続したことや、本邦の財政拡張懸念などから円安米ドル高となりました。その他主要通貨においても、日銀の追加利上げに慎重な姿勢や本邦の財政拡張懸念などから円安現地通貨高の動きとなりました。

ポートフォリオについて

各ファンドでは、各マザーファンドへの投資比率が以下の基本アロケーションからそれぞれ±5%以内の範囲で配分比率抑えるよう運用を行いました。

<基本アロケーション>

バランス物語30 (安定型) :

国内株式：19% 国内債券：65% 外国株式：5% 外国債券：8% 短期金融資産：3%

バランス物語50 (安定・成長型) :

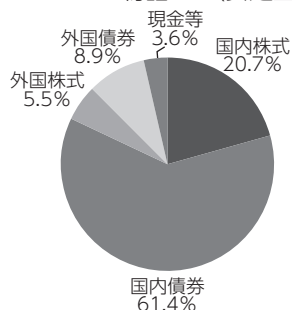
国内株式：30% 国内債券：43% 外国株式：12% 外国債券：12% 短期金融資産：3%

バランス物語70 (成長型) :

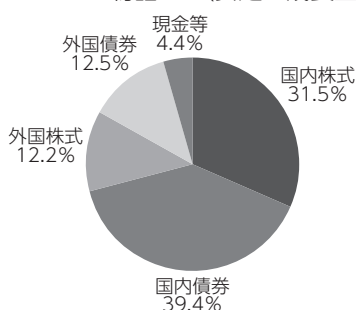
国内株式：40% 国内債券：22% 外国株式：19% 外国債券：16% 短期金融資産：3%

決算日 (2026年2月25日) 現在の組入比率

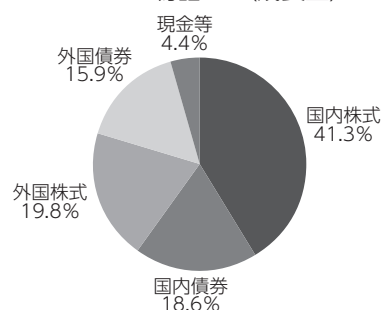
バランス物語30 (安定型)



バランス物語50 (安定・成長型)



バランス物語70 (成長型)



(注) 各資産の比率は、実質比率です。

●DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド

各業界において競争力の優れた高成長銘柄やバリュエーション面で割安な銘柄など、個別銘柄の選別投資に注力しました。企業のファンダメンタルズ分析に加えて、短期的・中長期的な視点で株価への織り込み度合いを勘案し、より割安と判断される銘柄への入れ替えを継続的に行いました。その結果、化学、非鉄金属などの組入比率を引き上げた一方、情報・通信業、建設業などの組入比率を引き下げました。

●DL ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド

デュレーション（金利変動に対する債券価格の変動性）戦略は、長期～20年ゾーンをアンダーウェイトとする短期化戦略を維持しましたが、2026年1月には相応な水準に達したことから一旦中立化し、2月に再度短期化戦略を取得しました。イールドカーブ戦略は、10年ゾーンに対して30年や40年ゾーンの平坦化を見込む戦略を拡大しました。クレジット戦略は、良好な市場環境が継続する中、ファンドでは利回り収益に魅力的な事業債等の保有ウェイトをオーバーウェイトとする戦略を維持しました。

●DL インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド

各国のマクロ経済分析等によるトップダウン・アプローチを活用しつつ、企業調査活動を基にしたボトムアップ・アプローチによるポートフォリオ構築を行いました。こうした中、業種別では一般消費財・サービスセクターをアンダーウェイトに変更した一方で、ヘルスケアセクターをニュートラル・ウェイトに変更しました。国別・地域別では、米国や欧州への投資比率を高位に維持しました。

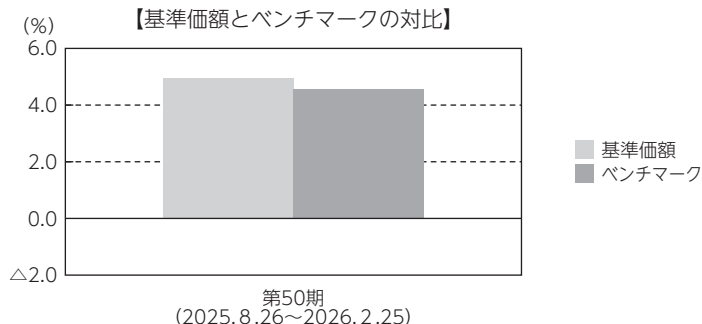
●DL インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド

銘柄選択では、長期債利回りのレンジ推移を想定してデュレーションを機動的に拡縮しました。米国では期初は長めのデュレーションを維持しましたが、2026年には短期化に転じました。国別の投資配分では、メキシコのオーバーウェイトや中国のアンダーウェイトを維持し、ノルウェーや豪州のオーバーウェイトを解消しました。通貨配分では、期の大半にて米ドルのアンダーウェイトを軸に機動的に調整しました。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は前期末比で4.6%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.4%上回りました。外国の株式がベンチマークを下回ったことや信託報酬がマイナス寄与したものの、個別資産要因で国内の株式と債券がベンチマークを上回ったことがプラス寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり)

| 項目 | 当期 |
|-------------|---------------------------|
| | 2025年8月26日 ~2026年2月25日 |
| 当期分配金 (税引前) | 10円 |
| 対基準価額比率 | 0.07% |
| 当期の収益 | 10円 |
| 当期の収益以外 | -1円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,398円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

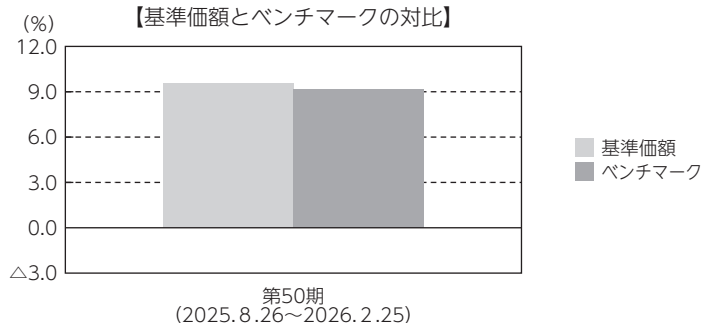
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

バランス物語50（安定・成長型）

■ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は前期末比で9.2%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.4%上回りました。外国の株式がベンチマークを下回ったことや信託報酬がマイナス寄与したものの、個別資産要因で国内の株式と債券がベンチマークを上回ったことがプラス寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|---------------------------|
| | 2025年8月26日 ～2026年2月25日 |
| 当期分配金（税引前） | 20円 |
| 対基準価額比率 | 0.10% |
| 当期の収益 | 20円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 10,075円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

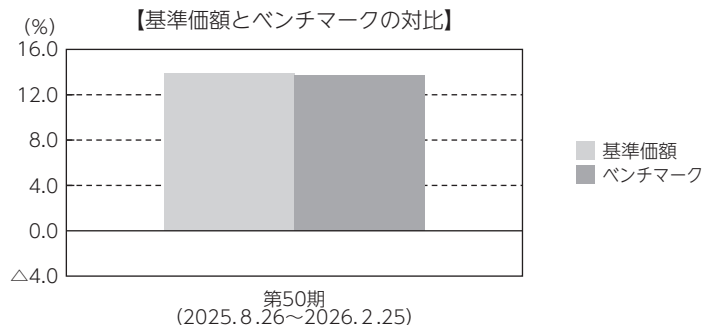
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は前期末比で13.7%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.2%上回りました。外国の株式がベンチマークを下回ったことや信託報酬がマイナス寄与したものの、個別資産要因で国内の株式と債券がベンチマークを上回ったことがプラス寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり)

| 項目 | 当期 |
|-------------|---------------------------|
| | 2025年8月26日 ～2026年2月25日 |
| 当期分配金 (税引前) | 30円 |
| 対基準価額比率 | 0.12% |
| 当期の収益 | 30円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 16,753円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金 (税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金 (税引前)」の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益 (含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

各ファンドのアセット・アロケーションは、基本アロケーションを基準としており、各資産の時価ウェイトが基本アロケーションから±5%の範囲内に収まるよう必要に応じてリバランスを行います。運用環境見通し等の大きな変更が信託財産の中長期的な成長に影響を及ぼす可能性が高いと判断した場合には、基本アロケーションの若干の見直しを行う場合があります。

●DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド

堅調な企業業績や国内新政権による政策期待などを支えに、株式市場は底堅く推移すると想定しています。銘柄選択の視点では、引き続き競争力の強さ等から中期成長性の高い銘柄、足元の業績が市場予想を上回ると予想される銘柄、P E R（株価収益率）等株価バリュエーションが割安な銘柄、株主還元に向きな銘柄等に投資します。また、組入比率については、高位を維持する方針です。

●DL ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド

中東での地政学リスクの高まりから内外株式市場が大幅調整を余儀なくされています。戦争の長期化とファンダメンタルズへの悪影響が警戒される中、短期的には金利は抑制的となることも想定されますが、中期的には日銀は段階的に政策金利の引き上げを継続する見通しで、デュレーション戦略は短期化を主軸としつつ、機動的にコントロールしていく方針です。クレジット戦略は、中東情勢に留意しつつ、短中期ゾーンのクレジット債のオーバーウェイトは継続する方針です。

●DL インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド

外国株式市場は、インフレ動向や金融政策を巡る思惑、地政学的リスクの不透明感などから短期的には不安定な相場展開が想定され、銘柄選択の重要性がより高まると考えます。運用方針としては、主に企業の調査活動を通じて魅力的な銘柄の選別に注力します。株式組入比率については、高位を維持する方針です。

●DL インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド

パンデミック以降、先進各国の金融政策サイクルは概ね連動してきたものの、利下げ局面の終わりを迎えつつある中、トランプ政権による関税政策の影響も加わって、各国の経済情勢、金融政策姿勢には乖離が生じる環境と考えています。銘柄選択については、長期債利回りのレンジ推移を想定してデュレーションリスク量の調整を行い、通貨選択については需給動向を勘案しながら機動的に戦略を構築する方針です。

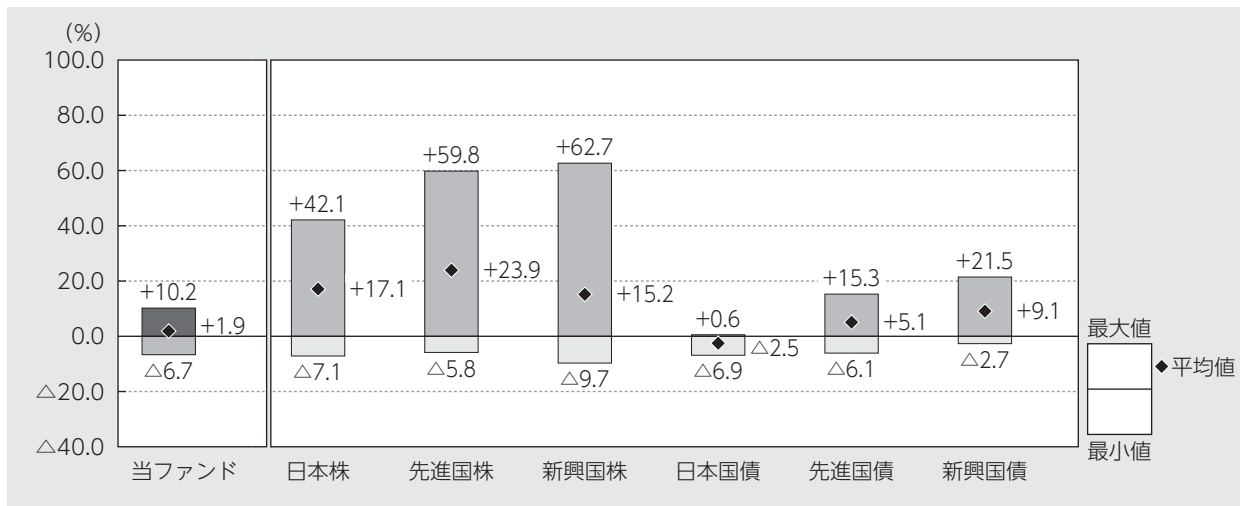
当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|-----------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 | |
| 信託期間 | 2000年12月27日から無期限です。 | |
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として安定的な運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド* | 以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | DLジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド | 日本の株式（全上場銘柄）を主要投資対象とします。 |
| | DLジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド | 日本の公社債を主要投資対象とします。 |
| | DLインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド | 日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。 |
| | DLインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド | 日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | <p>主としてマザーファンド受益証券への投資を通して、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。</p> <p>基本アロケーションのもと、個別資産毎におけるアクティブ運用を行い、委託会社が独自に指数化する合成インデックスをベンチマークとして超過収益を積み上げることを図ります。</p> <p>各資産につき、基本アロケーションにおける各資産毎の比率から±5%以内の範囲で配分比率の変動を抑えます。</p> <p>実質組入外貨建資産の為替リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。</p> | |
| 分配方針 | <p>決算日（原則として2月25日および8月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子、配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の中から基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p> | |

*ベビーファンドとは、バランス物語30（安定型）、バランス物語50（安定・成長型）、バランス物語70（成長型）です。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

バランス物語30 (安定型)



2021年2月～2026年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

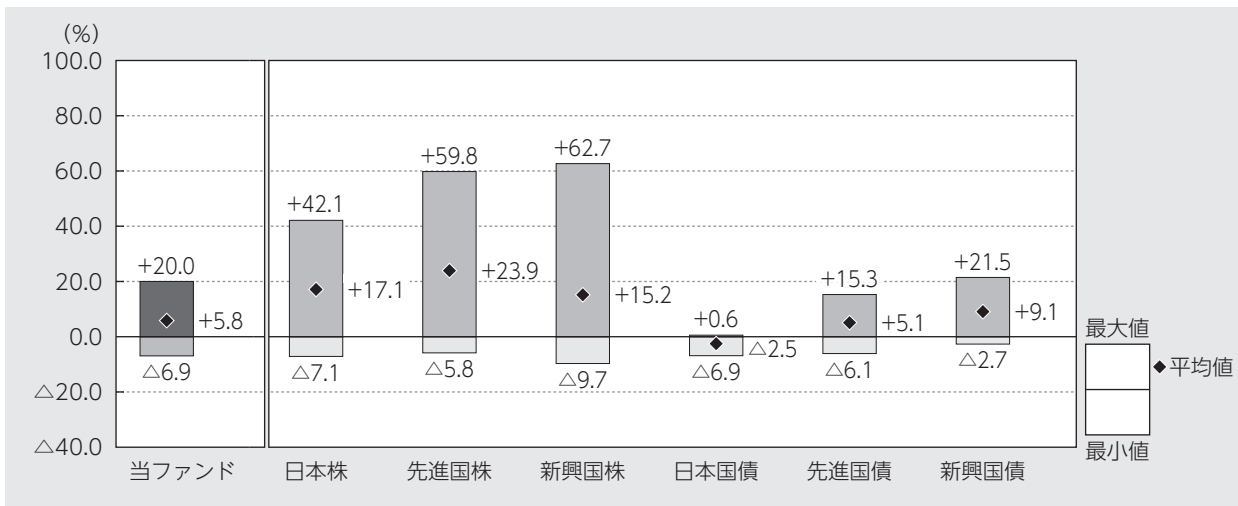
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

バランス物語50 (安定・成長型)



2021年2月～2026年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

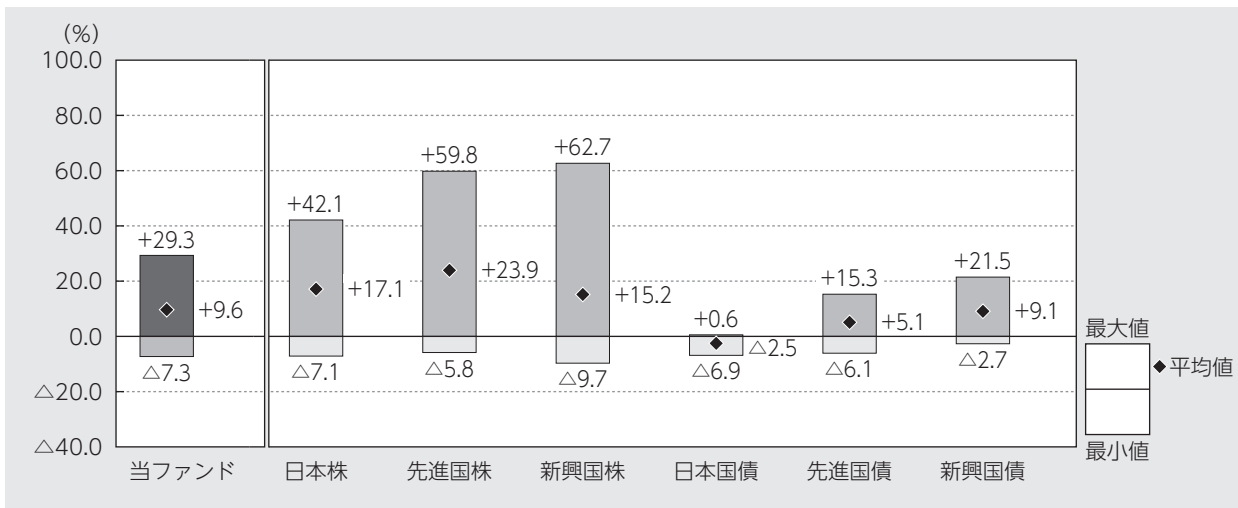
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

バランス物語70 (成長型)



2021年2月～2026年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

*各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年2月25日現在）

バランス物語30（安定型）

◆組入ファンド等

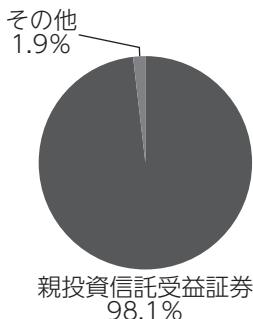
（組入ファンド数：4ファンド）

| | 当期末 |
|-----------------------------------|------------|
| | 2026年2月25日 |
| D L ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド | 62.7% |
| D L ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド | 20.9 |
| D L インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド | 9.0 |
| D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド | 5.5 |
| その他 | 1.9 |

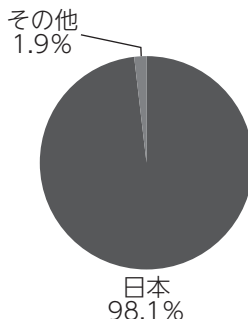
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

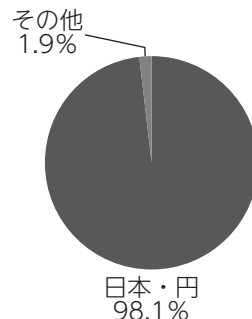
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2026年2月25日 |
| 純資産総額 | 1,323,185,160円 |
| 受益権総口数 | 930,088,933口 |
| 1万口当たり基準価額 | 14,226円 |

（注）当期中における追加設定元本額は4,364,286円、同解約元本額は27,177,484円です。

バランス物語50 (安定・成長型)

◆組入ファンド等

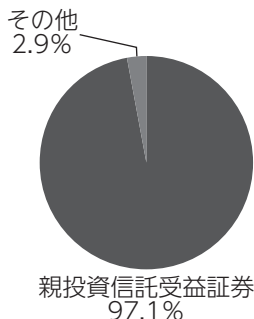
(組入ファンド数：4ファンド)

| | 当期末 |
|-----------------------------------|------------|
| | 2026年2月25日 |
| D L ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド | 40.2% |
| D L ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド | 31.9 |
| D L インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド | 12.6 |
| D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド | 12.3 |
| その他 | 2.9 |

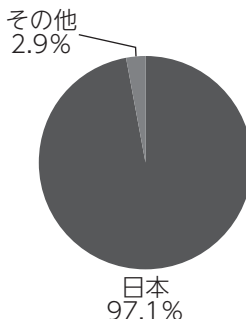
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

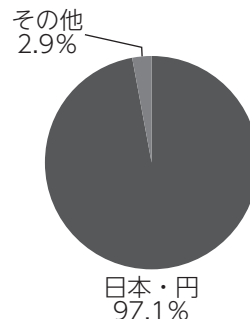
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2026年2月25日 |
| 純資産総額 | 1,154,744,207円 |
| 受益権総口数 | 591,700,841口 |
| 1万口当たり基準価額 | 19,516円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は3,515,104円、同解約元本額は22,400,946円です。

バランス物語70 (成長型)

◆組入ファンド等

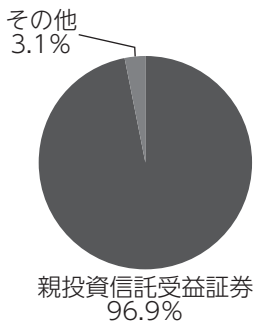
(組入ファンド数：4ファンド)

| | 当期末 |
|-----------------------------------|------------|
| | 2026年2月25日 |
| D L ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド | 41.8% |
| D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド | 19.9 |
| D L ジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド | 19.0 |
| D L インターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド | 16.2 |
| その他 | 3.1 |

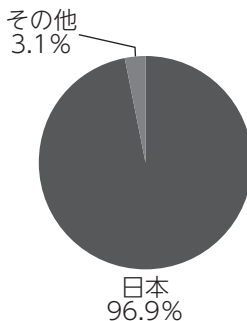
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

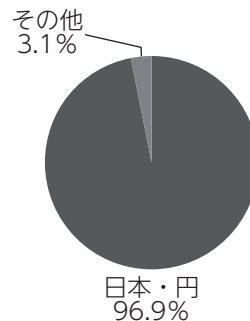
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

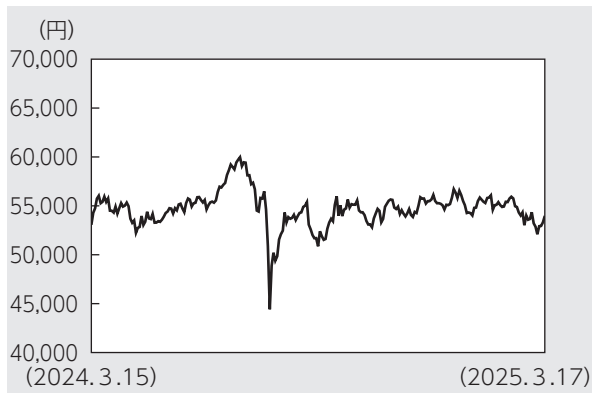
| 項目 | 当期末 |
|------------|--------------|
| | 2026年2月25日 |
| 純資産総額 | 701,498,130円 |
| 受益権総口数 | 274,127,347口 |
| 1万口当たり基準価額 | 25,590円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は1,800,912円、同解約元本額は23,208,284円です。

組入ファンドの概要

[DL ジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド] (計算期間 2024年3月16日～2025年3月17日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

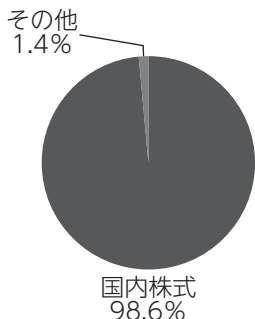
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-----------------------------|------|------|
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 日本・円 | 5.8% |
| 三井住友フィナンシャルグループ | 日本・円 | 5.4 |
| ソニーグループ | 日本・円 | 4.6 |
| 日立製作所 | 日本・円 | 4.0 |
| トヨタ自動車 | 日本・円 | 3.9 |
| 任天堂 | 日本・円 | 3.3 |
| 日本電気 | 日本・円 | 3.1 |
| 東京海上ホールディングス | 日本・円 | 2.9 |
| 三菱重工業 | 日本・円 | 2.6 |
| パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス | 日本・円 | 2.5 |
| 組入銘柄数 | 80銘柄 | |

◆1万口当たりの費用明細

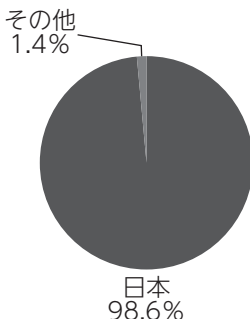
| 項目 | 当期 | |
|---------------------|-------------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 18円 (18) | 0.032% (0.032) |
| 合計 | 18 | 0.032 |

期中の平均基準価額は54,696円です。

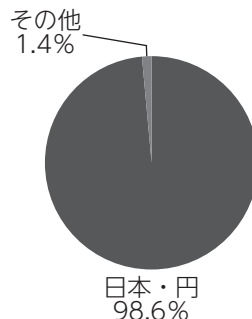
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

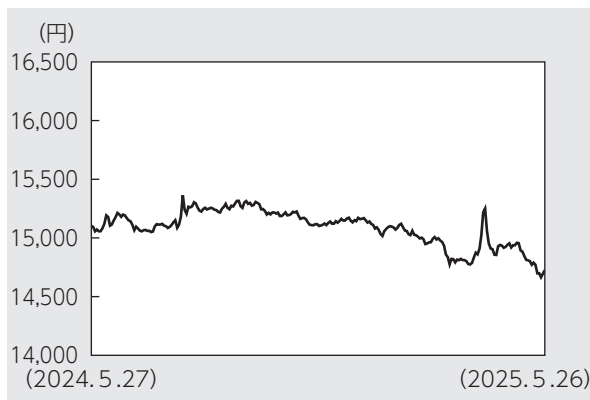
(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DLジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド】

(計算期間 2024年5月28日～2025年5月26日)

◆基準価額の推移



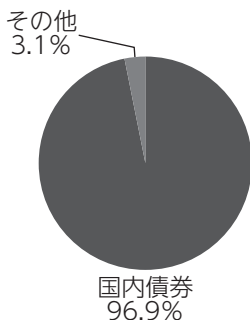
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|----------------------|-------|------|
| 366回 利付国庫債券(10年) | 日本・円 | 4.4% |
| 1303回 国庫短期証券 | 日本・円 | 3.3 |
| 191回 利付国庫債券(20年) | 日本・円 | 2.5 |
| 17回 みずほフィナンシャルG 劣後社債 | 日本・円 | 2.4 |
| 2回 武田薬品工業期限前償還条項付劣後債 | 日本・円 | 2.4 |
| 26回 物価連動国債(10年) | 日本・円 | 2.2 |
| 33回 利付国庫債券(30年) | 日本・円 | 1.9 |
| 156回 利付国庫債券(20年) | 日本・円 | 1.9 |
| 17回 利付国庫債券(40年) | 日本・円 | 1.7 |
| 169回 利付国庫債券(20年) | 日本・円 | 1.7 |
| 組入銘柄数 | 168銘柄 | |

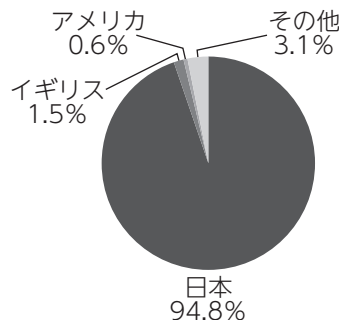
◆1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | |
|----------------------|-----------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) その他費用 (保管費用) | 0円 (0) | 0.000% (0.000) |
| 合計 | 0 | 0.000 |
| 期中の平均基準価額は15,085円です。 | | |

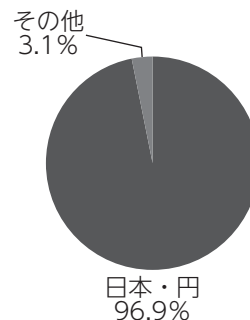
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

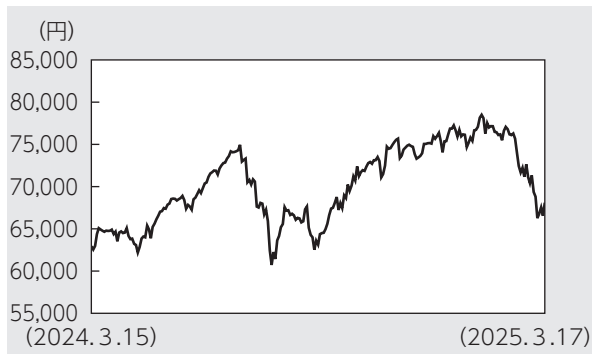
(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[D L インターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド] (計算期間 2024年3月16日~2025年3月17日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

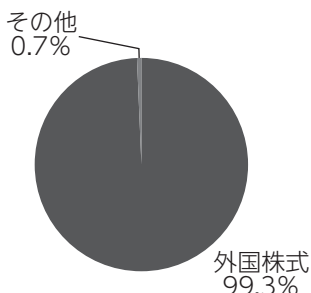
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-----------------------------|---------|------|
| NVIDIA CORP | アメリカ・ドル | 4.7% |
| SAP SE | ユーロ | 3.7 |
| SERVENOW INC | アメリカ・ドル | 3.5 |
| APPLE INC | アメリカ・ドル | 3.4 |
| MOTOROLA SOLUTIONS INC | アメリカ・ドル | 3.4 |
| JPMORGAN CHASE & CO | アメリカ・ドル | 3.3 |
| PHILIP MORRIS INTERNATIONAL | アメリカ・ドル | 3.2 |
| MICROSOFT CORP | アメリカ・ドル | 3.2 |
| MORGAN STANLEY | アメリカ・ドル | 3.1 |
| ALPHABET INC-CL A | アメリカ・ドル | 3.0 |
| 組入銘柄数 | 51銘柄 | |

◆1万口当たりの費用明細

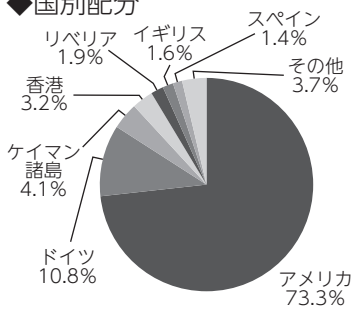
| 項目 | 当期 | |
|------------------------------|---------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 69円 (69) | 0.099% (0.099) |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 22 (22) | 0.032 (0.032) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 15 (15) (0) | 0.021 (0.021) (0.000) |
| 合計 | 106 | 0.151 |

期中の平均基準価額は70,249円です。

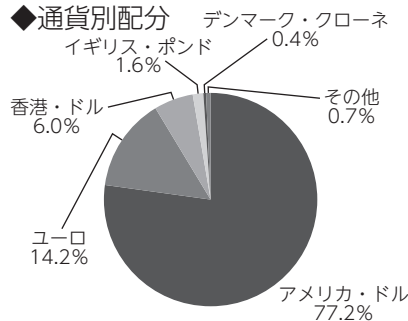
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

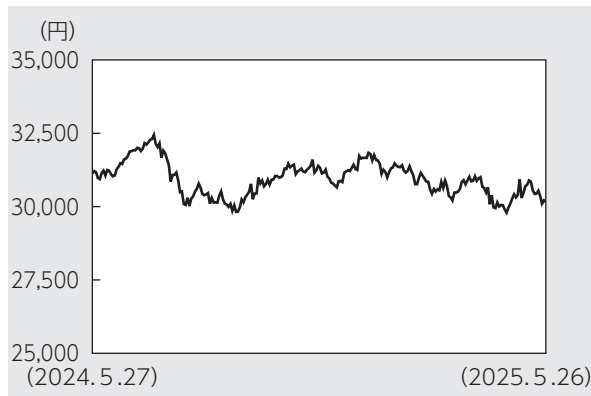
(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[DLインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド] (計算期間 2024年5月28日~2025年5月26日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

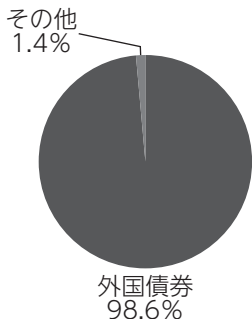
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------------------------|------------|------|
| US T N/B 4.625 02/15/35 | アメリカ・ドル | 7.9% |
| US T N/B 1.5 08/15/26 | アメリカ・ドル | 7.6 |
| US T N/B 4.125 11/15/32 | アメリカ・ドル | 6.8 |
| CHINA GOVERNMENT BOND 1.42 11/15/27 | オフショア・人民元 | 5.0 |
| US T N/B 2.375 05/15/29 | アメリカ・ドル | 4.6 |
| ITALY BTPS 3.85 12/15/29 | ユーロ | 3.1 |
| CHINA GOVERNMENT BOND 2.12 06/25/31 | オフショア・人民元 | 2.9 |
| CHINA GOVERNMENT BOND 2.11 08/25/34 | オフショア・人民元 | 2.7 |
| ITALY BTPS 3.45 07/15/27 | ユーロ | 2.5 |
| NORWAY 3.75 06/12/35 | ノルウェー・クローネ | 2.5 |
| 組入銘柄数 | 61銘柄 | |

◆1万口当たりの費用明細

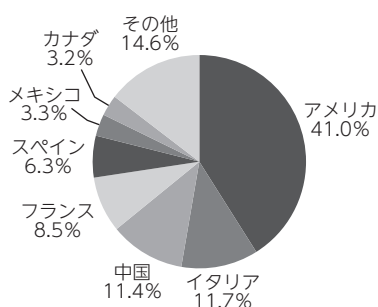
| 項目 | 当期 | |
|---------------------|------|---------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) その他費用 (保管費用) | 10円 | 0.031% |
| (その他) | (9) | (0.030) |
| | (0) | (0.001) |
| 合計 | 10 | 0.031 |

期中の平均基準価額は30,928円です。

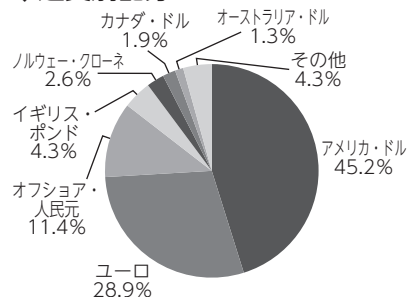
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。
- (注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
- (注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注8) 通貨別配分は為替ヘッジ考慮前の割合です。為替ヘッジ考慮後の通貨別配分に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載されています。
- (注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

- 合成インデックスとは、国内株式については東証株価指数（TOPIX）（配当込み）、国内債券についてはNOMURA-BPI総合、外国株式についてはMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）、外国債券についてはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）、短期金融資産についてはコール・ローンのオーバーナイト物レートを、各ファンドにおける基本アロケーションに基づいて合成したものです。基本アロケーションについては、前掲の「ポートフォリオについて」をご参照ください。
- 東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
- NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

